

## 4.2. 漂着ゴミの影響

### 4.2.1 防護面から見た漂着ゴミの影響

日本の沿岸部には人口や資産が集中しており、従来海岸部では波浪からの防護が重要な課題となっている。このような状況下で、施設周辺にゴミが堆積すると飛沫だけではなく、金属やプラスチック類の破片も背後域へ飛散し通常の越波よりも危険度が高くなる。また、流木や粗大ゴミなどの大型のゴミは人や車だけでなく背後の住居やインフラの損壊といった被害も発生する。さらに、大型のゴミは保全施設への衝撃力が増加し、施設の損壊も発生する。その他にも、漂着ゴミによって保全施設が機能不全に陥る状況は様々な場面で考えられる。

しかし、海岸へのゴミの漂着過程は台風や大雨後の河川からの流出時以外は、時間をかけて徐々に堆積していくものである。従って、災害発生前の海岸においては、ゴミの量だけでなく危険度も徐々に増加していくことになる。万が一、災害によって海岸保全施設が機能不全に陥った場合、あるいは許容値を超えた波にゴミが混入した場合には復旧費だけでなく、膨大な経済損失が伴うことになる。

従って、海岸の防護機能を維持しリスクを早い段階で軽減するためにも、日常的な漂着ゴミ対策は非常に重要である。

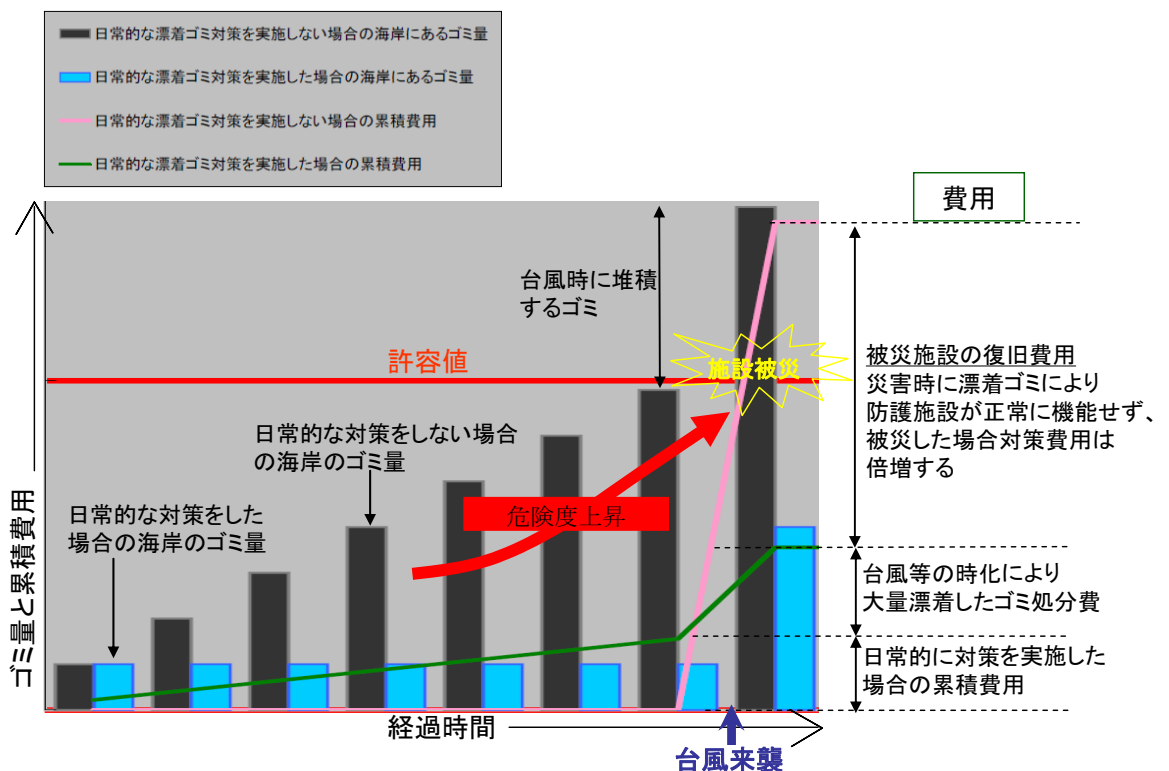


図 4.13 海岸の漂着ゴミ量と対応費・危険度の関係

### (1) 海岸施設のゴミの現状と対処

ヒアリングした海岸管理者の主要な回答は次の通りである。

- ① 海岸施設の漂着ゴミが施設上に乗っている場合は確認できるが、ブロックなどの間に入っているものについては、入っていることは確認できるものの、量や種類などを正確には把握できない。
- ② 海岸施設に漂着物がある場合で、撤去処分するのは具体的問題が起きている場合がほとんどである。
- ③ 従って海水浴等に問題が生じる海浜は清掃することがあるが、離岸堤、突堤、護岸などを清掃することはほとんどない。

ヒアリングしたほとんどの海岸管理者から上記のような回答を得ている。

しかし、山形県では、海岸漂着物が道路へ移動する恐れがある場合は、漂着物を撤去することがあり、春先には道路沿いの海岸施設漂着ゴミは海岸管理者が清掃しているとのことであった。

### (2) 漂流・漂着物の海岸施設機能への影響

海岸施設の機能への影響については、ブロックの間にゴミが入れば機能が低下することは想像できるが、機能低下の程度は分からないこと、具体的に越波が多くなったなどの現象は確認できていないなどの回答が一般的であった。

鹿児島県の担当者は、ブロックの間に入ったゴミを撤去するためにはブロックをはずして取るほかになく、たとえ問題があっても実態上不可能であると指摘している。

### (3) 漂流・漂着物による海岸施設の損傷等の事例について

漂流物が海岸施設に衝突することなどで施設が破壊されたりした事例についてヒアリングしたが、そのような事例は聞けなかった。

#### 4.2.2 利用面から見た漂着ゴミの影響

海岸利用の代表的なものとして、海水浴等の海辺のレジャーや漁業などが挙げられる。これらはどちらも健全な海で可能な活動である。漂着ゴミによってこれらの利用活動に支障をきたす場合が多々みられるが、その活動自体も漂着ゴミの発生源と成り得る。特に海水浴場のように人が多く集まるような場所では、利用のための維持管理が非常に重要である。本調査では沖縄などのリゾートホテルや各地の海岸近くの観光地（厳島神社）では、海岸そのものが観光資源であるため日常的な海岸清掃に非常に力を入れて海岸を維持していることを確認している。

海岸の利用が活発な場所で仮に漂着ゴミ対策が滞ると、海岸に漂着するゴミだけでなく利用者が出すゴミも徐々に堆積していく。その結果、ゴミの多い海岸は魅力がなくなり、徐々に集客力が減少することになる（図 4.14）。更に、整備や維持管理の優先度が引くなり、漂着ゴミ対策の費用が削られ、益々漂着ゴミが堆積するという悪循環に陥る可能性がある。逆に、日常的に漂着ゴミの対策を実施することで海岸の利用が可能であるだけでなく、海岸の集客力が上がりさらなる利用促進も期待できるなど好循環となることも考えられる（図 4.15）。従って、海岸の利用面から見ても漂着ゴミは早期に対処することが非常に重要である。

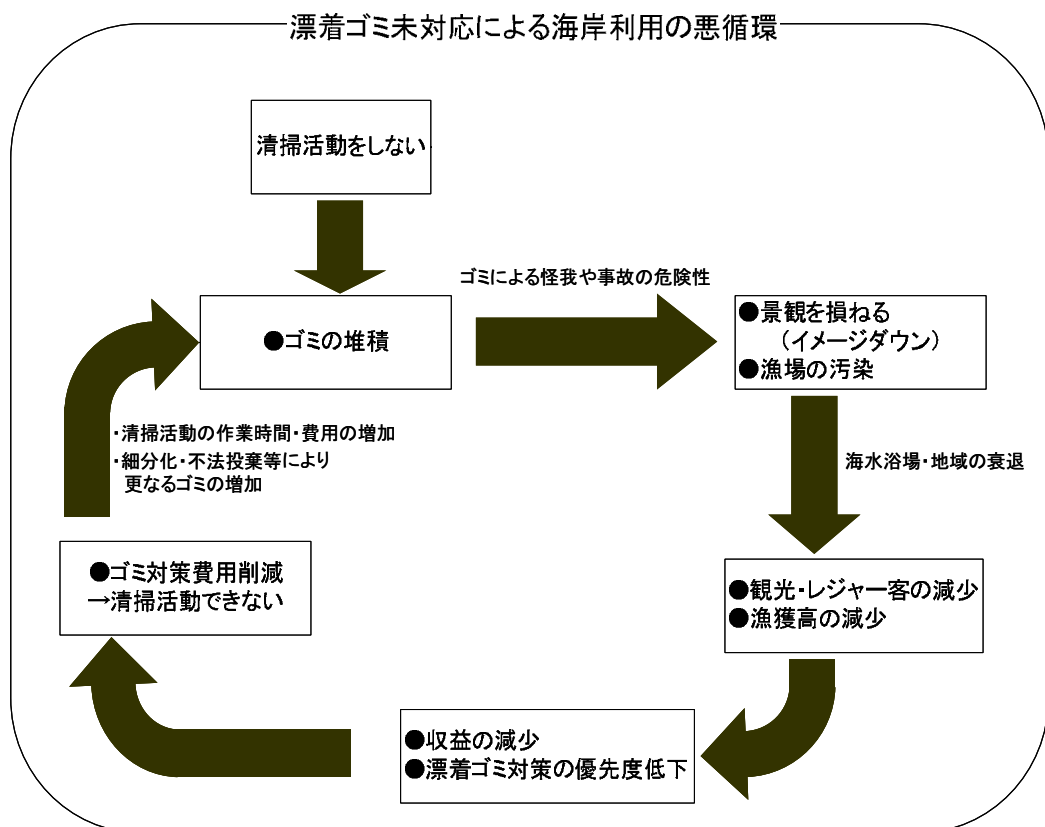


図 4.14 海岸利用の悪循環

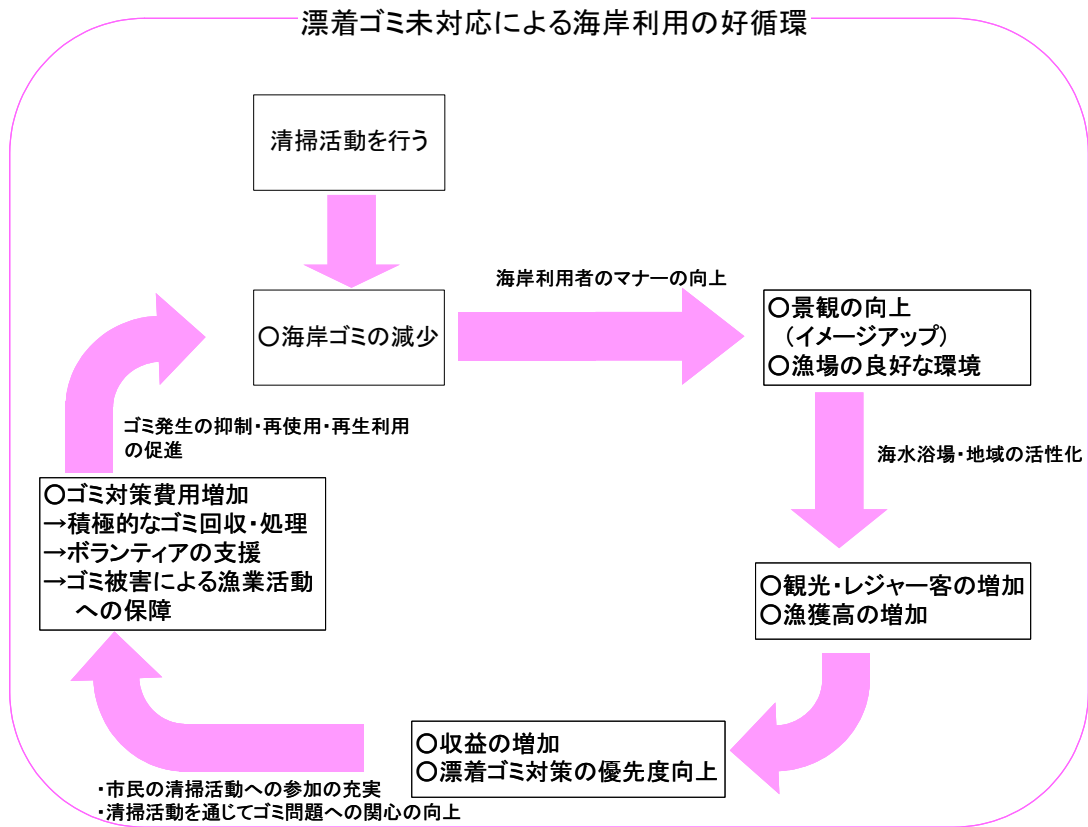


図 4.15 海岸利用の好循環

(1) 海水浴に与える影響

現地調査した海岸のうち海水浴に利用される海岸は次の通りである。

いずれの海岸でも海水浴シーズンには景観や快適さ、安全などに影響があるとして海浜の清掃を実施している。従って、海水浴客には影響は出ないが、清掃の労力および費用が発生している。

表 4.8 海水浴に利用される海岸

海岸名	海浜名、地区名	備考
酒田港	大浜地区	
加茂港	加茂地区	
両津港	住吉地区	海水浴場整備中、一部供用
岩船港	瀬波温泉地区	
常陸那珂港	阿字ヶ浦	
津松阪港	西黒部地区、香良洲地区、御殿浜地区	
重栖港	福浦地区人工海浜	
瀬戸田港	サンセットビーチ	
高知港	種崎地区、桂浜	
西方港	西方港海岸	

海水浴場の清掃主体等は次の通りである。

ほとんどの清掃主体はボランティアであり、県が実施しているものはいずれも特殊な事情があるものであった。両津港は現在整備中であって一部海水浴場として供用している。このため県職員がシーズンは毎日、直接清掃している。常陸那珂港は毎年養浜しており、その工事の一環として県が清掃している。高知港の種崎地区は背後が公園となっており、公園と一体となって海浜が一年を通じて散策などに利用されている。夏季には海水浴にも利用されている海岸であることから、県が海浜の清掃を実施している。

回収したゴミの処分はほとんど地元自治体が行っている。

表 4.9 海水浴に利用される海岸の清掃主体

海岸名	清掃主体	備考
酒田港	ボランティア	
加茂港	自治会のボランティア	
両津港	県職員、中学生	海水浴場整備中
岩船港	ボランティア	
常陸那珂港	県、ボランティア	県は養浜工事の一環で清掃している。うち清掃費 10 万円～20 万円
重栖港	町、ボランティア	
津松阪港	ボランティア	
瀬戸田港	ボランティア	
高知港	県、市、ボランティア	県の清掃の出費は台風等によるもの年平均 140 万円、一般の清掃、年平均 66 万円
西方港	ボランティア	木や竹は海岸で焼却(野焼き)

## (2) 港湾機能に与える影響

ヒアリングからゴミが港湾機能に影響を与えている港湾を表に整理した。

漂流・漂着ゴミでかなり困っている港湾もある。酒田港の本港地区は河川から流れ出たゴミなどが西からの風で港内に集まってくる傾向があり、奥部にはかなりのゴミが堆積していた。時には、流木などが港内に入り、波によって埠頭上にまで打上げるといふ。

加茂港金沢地区では毎年、冬になると木の葉が大量に集まってきて斜路に堆積し船の上げ下ろしが出来なくなる。従って、船を使う春には回収し、処分している。このため平均して年間1,000万円の処理費が支払われている。

高知港では台風などの大雨で河川から大量の木屑、アシ、プラスチック系ゴミなどが港湾に流れ込み、それが堀川河口に集まって、ひどい時はゴミの層が20～30cmもの厚さとなり、船を動かすことが出来なくなることがたびたび起きている。

表 4.10 漂流・漂着ゴミが港湾機能に与える影響

海岸名	影響	対策等
酒田港	本港地区のゴミ	岸壁に打上げたもの、泊地の操船に影響するものは清掃する。 道路などに近いものは清掃する。
加茂港	冬季、斜路に大量の木の葉などのゴミ、斜路が機能しない。	毎年処理に、平均して年間1,000万円程度掛かり、県が負担している。
輪島港	大雨の後河川からゴミが流入する。操船に支障	漁協が主体となって清掃することがある
高知港	堀川河口に河川からのゴミが大量に浮遊することがあり、操船に支障	県が負担して清掃している
川内港	久見崎地区物揚場では木竹屑など船の周りに溜り、支障が出ている	大きなゴミなどは県が処理することがある



図 4.16 河川から輪島港内に流入したゴミ  
資料：JFいしかわ輪島支所提供

### (3) 漂流物が船舶航行に与える影響

佐渡汽船の新潟～両津航路のジェットフォイルへの影響を示したが、ヒアリングでも、港湾内の漂流物が船舶に影響を与える事例があった。以下に整理する。

表 4.11 漂流物が船舶航行に与える影響

港湾名、航路名	漂流物の影響	備考
佐渡航路	しばしば運航に支障がでる	年間数十回に及ぶ
酒田港	埠頭にゴミが打ちあがる 泊地にゴミが漂う	
加茂港	斜路に多量の木の葉が漂着する	多額の清掃費用を費やしている(平均 1,000 万円)
輪島港	港内の河川からゴミが流入し、操船に支障がでることがある	
西郷港(隠岐)	①平成 17 年に大量の海藻が港内に流入し、操船に支障があるため、県の負担で撤去した。 ②スクリューにロープが絡み航行できなくなり近くの漁船がロープで引いて帰港した。 ③平成 17 年に 7000 本の流木が漂流した時、流木が船にぶつかった。 など、漂流物による影響が時々発生している。	
高知港	港内に流入する河川からゴミが流入し、操船に支障がでる。	
川内港	港内にゴミが漂い、操船に支障がでる 大量の流木が港内に入ってきたこともある。	

## 1) 漂流物

海岸管理者にヒアリングしたところ、ほとんど海岸管理者に漂流物についての情報が入っていない。海上保安庁からの情報によって漂流物が来ることを知るような状態であると管理者が言っており、港を利用する船舶からの情報などもほとんど海岸管理者に入っていないかった。

フェリーを運航している佐渡汽船（株）に海洋漂流物の影響について聞いたところジェットフォイルについては漂流物等による不具合の記録をとっていた。これによって漂流物の影響を知ることが出来る。

平成18年における漂流物による不具合は合計61回発生している。その内容は、吸水部の圧力低下がほとんどで、年間55回起きており、ほかには、漂流物が翼の支柱にかかることなどによる船速の低下などが6回ある。吸水部の圧力低下は物が詰まるか、吸水口をふさぐことが考えられることであり、これが多いということは、すなわち、ジェットフォイルに対して影響を及ぼすような漂流物が多いことを示している。

原因が確認できているものを分析すると、ビニール片、木片、魚が多い(表 4.13 参照)。

表 4.12 平成 18 年漂流物等による不具合(3 隻合計)

影 響	回 数	うち原因判明
吸水部圧力低下	55	20
船速低下	3	2
その他	3	2
合 計	61	24

佐渡汽船資料より作成

表 4.13 判明している原因と回数

原 因	回 数	備 考
ビニール片	9	
木片	9	
魚	3	
プラスチック	1	蓋状のもの
ゴミ	1	細かいゴミ多数
ロープ	1	φ 40mm×15m
魚網	1	
海藻	1	
計	26	

注：原因が複数の場合があるため上表と一致しない。

佐渡汽船（株）資料より作成



平成18年以外の主な漂流物による不具合を以下に示す。

4件が漁網あるいはロープによるものである。中には、径32mm 長さ400m～500m（平成14年8月27日）のような大きなロープの場合もあり、この時は、大量に絡み付いていたため洋上で除去できず、艇走で両津港まで航行している。ほかに、青竹、鉄パイプ、家庭用プラスチックまな板、流木が不具合の原因であった。

表 4.14 漂流物によるジェットフォイルの主な不具合（h18年を除く）

H19, 3, 19	漁網	翼走中船首ストラットに衝撃を感じ速力が低下したため、着水した。フォワードストラットを上げて点検したところ、漁網の塊が絡んでいるため、外そうと操船したが外れないので艇走にて新潟に向かう。速力が上り始めた時にシャットダウンした。外れた網を吸い込んだものと判断しブローダウンを実施し、正常となった。
H14, 8, 27	ロープ (漁具の一部)	翼走中、水面下に浮遊していたロープが船首ストラットに掛かり、着水した。点検したところ、船尾付近に大量に絡み付いていたため洋上で除去を断念。艇走にて両津港へ航行。着岸後ロープを除去して復旧した。 ロープ径 32mm 長さ 400m～500m
H14, 4, 11	漁網 3m×20m 程度	翼走中船首が持ち上がるような衝撃があり、船速が急速に低下した。着水し点検したところ特に異常は認められないため、テイクオフを試みるが、速力が上らないことなどから再点検したところ、船尾ストラット両端に漁網が引っかかっており、除去作業を行い正常となる。
H11, 4, 4	ロープ、青竹	両津港に着岸後、右舷船尾側ストラットにロープが引っかかっているとの報告がある。これらの障害物を撤去した後、ストラットを上げて点検したが、異常は認められなかった。 ロープ(径 10m×長さ 60m)、青竹(長さ 50cm)
H9, 11, 21	家庭用プラスチックまな板	直江津港を出港しテイクオフしようとしたところ、インレット圧が低めであったことから安全のため、直江津港へ引き返した。点検したところ、センターストラット内ターニングベーンに家庭用プラスチックまな板が噛み込んでいた。
H9, 9, 30	鉄パイプ	新潟航路中央で翼走中、黒い物体を発見し、緊急回避したが及ばず衝突した。速力が低下し多少舵が取られる感じがあったが、翼走可能であったため、そのまま新潟まで翼走し、着岸した。衝突したのは、径 17 c m長さ 14m重さ 280kg の鉄パイプであった。
H6, 12, 20	流木 (長さ 3～4m、 径 30cm)	石川県沖を航行中の貨物船が 19 日午前、荷崩れを起こし 450 本の木材が流出した。20 日昼頃、佐渡島南沖合 20 k m付近に上記木材が多数漂流しているのをカーフェリーが目撃した。このため、夜間のジェットフォイル 4 便が欠航した。

資料：佐渡汽船（株） 一部簡略化した。



図 4.17 両津港に入港するジェットフォイル 佐渡汽船(株)HP

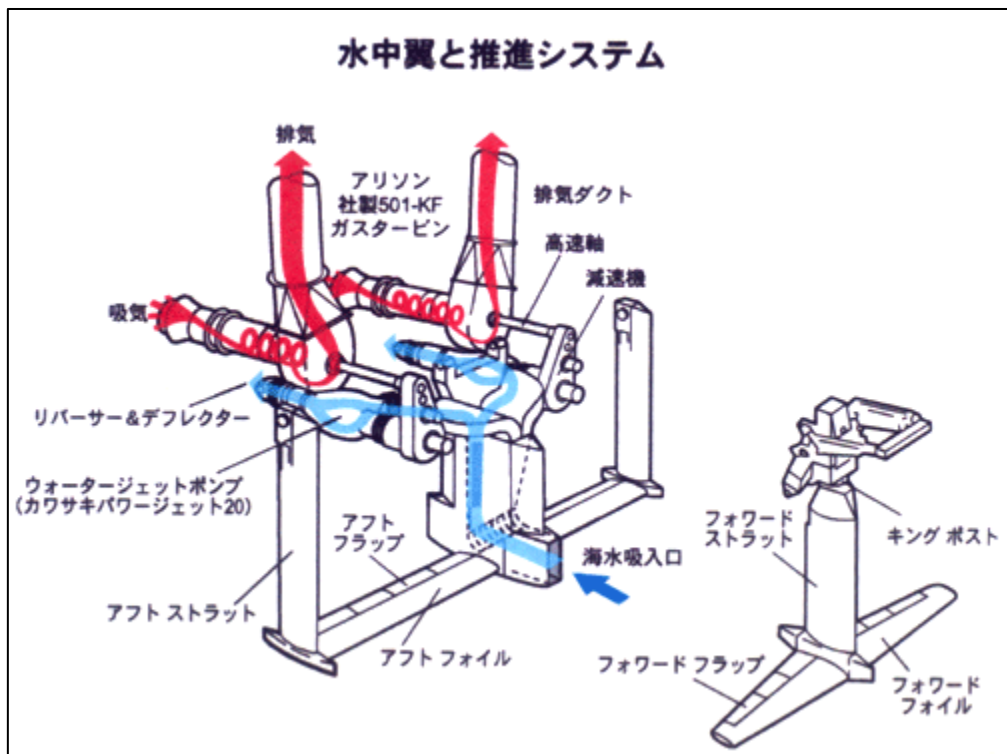


図 4.18 水中翼と推進システム 川重 J P S (株)HP

(4) 漁業活動へ与える影響

項目	問題点・課題	備考
漁業活動面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港海岸を漁場等として漁業利用している例は少なく、漁業利用面での影響は軽微と見られる。</li> <li>・漁業活動への影響は、海岸に漂着したゴミよりも、海域を漂流している流木等のゴミや海底に蓄積された各種ゴミに起因する漁船や漁網の損傷被害等に多く見られる。</li> <li>・ただし、一般消費者が海と接する機会として海水浴場を利用する場合に、漂着ゴミは当該地域の漁獲物のイメージダウンにつながることは言うまでもなく、消費・販売面での影響は少なくないものと見られる。</li> </ul>	<p>※漁港海岸を二枚貝等の漁場や海藻類の干場等に利用している事例を補強する必要がある。</p>
海岸利用面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港海岸は、従来型の海水浴場としての利用の他サーフィンやウィンドサーフィン等を始め、最近では、海岸に生息する動植物を対象としたエコツーリズムの場等の観光関連利用を通じて、一般国民の海との接点となっている。また、そこに住む地域住民の散策等の空間としても利用されている。</li> <li>・ゴミの漂着した海岸は、安らぎや癒し、美しい海でのレクリエーションを求める人びとに不快感を与え、利用低下を招くことが多い。このことは、結果的に、海や海岸での観光振興を核とした“地域おこし”に取り組む漁村の活性化に、少なからず悪影響を与えている。</li> </ul>	

#### 4.2.3 環境面から見た漂着ゴミの影響

海岸に漂着するゴミのうち人工系のゴミはその多くがプラスチックや発泡スチロールといった、石油起源の素材である。これらのゴミは回収されずに堆積し続けると、摩擦や紫外線による劣化によって細かい粒子となっていくため、時間が経過するにつれて回収が困難になってくる。プラスチック類の破片は特に PCB 等の有害化学物質を吸着しやすいといわれており<sup>4</sup>、生物への体内吸収や食物連鎖を経た体内濃縮等の危険性があり生態系に時間をかけて広い範囲に悪影響を与える。

一方、大量にゴミが漂着してその撤去が追いついていない海岸や、利活用が進んでいないため管理が行き届かずに漂着ゴミが徐々に堆積しているような海岸では、海岸線に沿ってゴミの山が形成され、海と背後の植栽が遮断される。これによって、海岸線に生息する小型の生物の生息場所や、海と陸とを行き来する生物の生活路あるいは産卵時の道が断たれてしまい、それらの生物を中心とした生態系が大きく乱れる可能性がある。

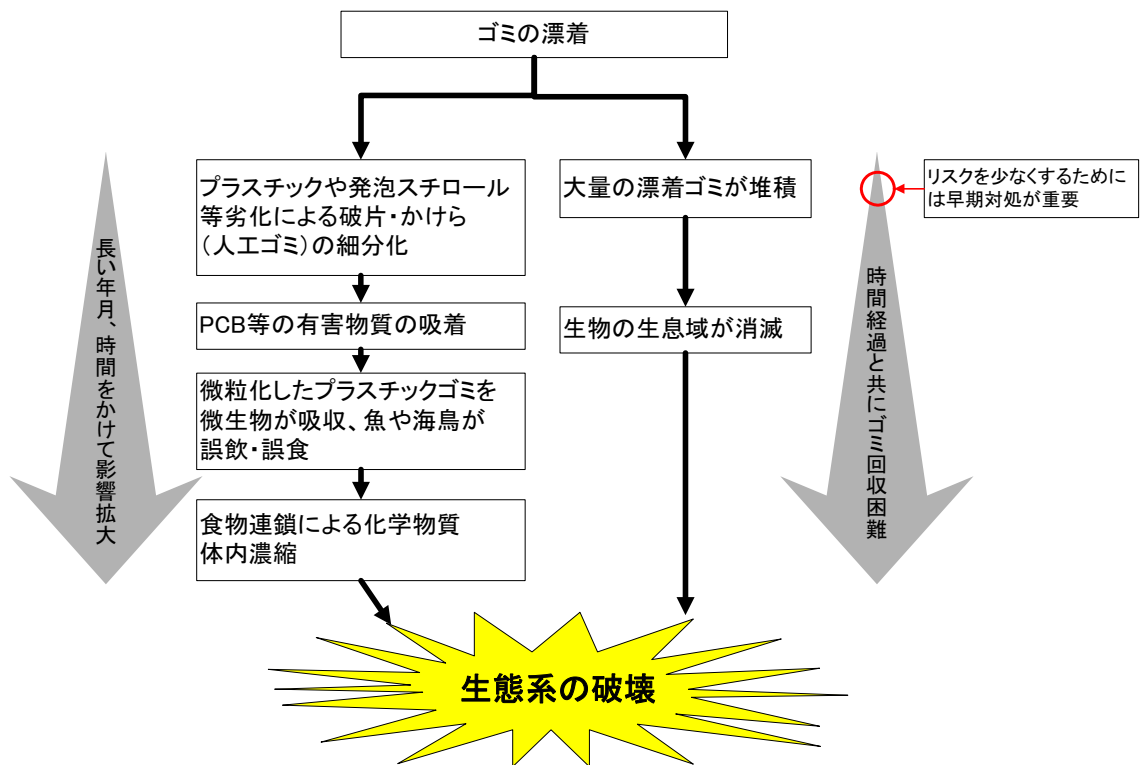


図 4.19 海岸の漂着ゴミが時間経過と共に環境に与える影響

<sup>4</sup> ひげ先生の書簡 漂着ゴミ 海岸線の今を追って 山口晴幸

(1) 生態系環境に与える影響

海岸施設管理者からのヒアリングからは、漂着物の生態系環境に与える影響について特段の話はなかった。

海浜と生物に関係した話があったのは、高知港の種崎地区である。

海亀の産卵が確認されたため、県は孵化までの間、人が立ち入らないよう周囲を囲うなどの対応をした。無事に孵化し海に戻ったことを確認して、囲いを撤去した。

以上の経緯であったが、特に、漂着物との関係はなかったとのことであった。

海亀はクラゲと似ているビニール袋を食べて胃に詰まらせることによって、健康状態が影響を受けるといわれている。死んだ海亀の胃から多量のプラスチック片が出てきた例(図 4.20参照)やビニール袋が胃に詰まっていた例がある。東京都の小笠原水産センターの記事では300m から600m の深い海にいるソデイカの胃にもビニール袋の破片が入っていたとの記事があり、海のゴミは沿岸のみならず沖合の深い海の生物にまで影響を与えている可能性がある。

海岸の漂着物と生態系の関係はさらに研究されるべき課題であるが、海亀などは絶滅が危惧されており、まず、海のゴミを減らすことに努める必要がある。

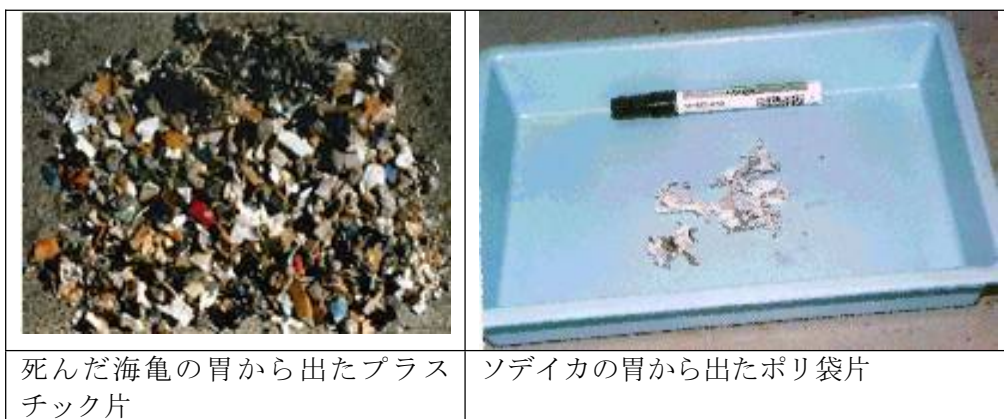


図 4.20 海亀とソデイカの胃から出てきたプラスチックゴミ

資料：JEAN ホームページ、東京都ホームページから

(2) 生態環境面に与える影響

項目	問題点・課題
生態環境面	<ul style="list-style-type: none"> <li>海岸に漂着するゴミのうち、合成樹脂系のゴミ、特に、簡易な生け簀等に多用されている発泡スチロールが粉碎されて、海岸の砂や岩場の間等に固定化している例が多く見られる。現在のところ、具体的、科学的な生態系や生物(漁獲対象生物を含)への影響は把握されていないが、長期的な生態系等への影響が懸念される。</li> </ul>
漁村環境面	<ul style="list-style-type: none"> <li>海岸漂着ゴミによる、具体的な衛生環境の悪化を定量的に把握することは困難であったが、海岸に直接面した漁村の場合、景観環境の悪化に直接的に影響を及ぼしていることは明らかである。</li> <li>漂着ゴミの集積した海岸が及ぼす、住民の生活環境というハード面での悪影響以上に、ふるさと景観の悪化を目の当たりにした住民自身の地域に対する愛着や誇りが傷つけられることの方が、漁村活性化上問題が大きいと言える。</li> </ul>

#### 4.2.4 景観・観光等に与える漂着ゴミの影響

##### (1) 景観等に与える影響

海水浴場の場合、既に景観への配慮が含まれているが、この中から特に景観が重要なもの、および、海水浴場以外のものを加え整理すると次の通り。

表 4.15 漂着ゴミに関して景観等への配慮が必要な海岸

海岸名	海浜名、地区名	備考
岩船港	瀬波温泉地区	温泉街の前の海浜 ボランティアが清掃
常陸那珂港	阿字ヶ浦	散策等に通年利用される ボランティアが清掃
津松阪港	西黒部地区、香良洲地区、御殿 浜地区	散策等に通年利用される ボランティアが清掃
国賀港(隠岐)	国賀港海岸	町が観光シーズン前に清掃
高知港	桂浜	観光地、通年、客が来る。市およ びボランティアが清掃
長崎港	常盤出島地区	観光客が来る場所。県が清掃

##### 1) 岩船港海岸

岩船港の瀬波温泉地区ではボランティアなどが温泉街の前の海浜を頻繁に清掃している。一部は毎日清掃しているところもある。しかし、温泉街から離れた海浜の清掃は必ずしも頻繁ではないと聞く。事実、温泉街から離れた部分はゴミが多少多かった。

##### 2) 高知港海岸

高知港桂浜地区は観光客が多いことから、高知市が市の負担で清掃している。観光資源であるなど景観に価値がある海岸は周囲の関心も高くきれいに保たれる。景観維持のため公的セクターが関与できるのも観光という名目が立つからと考えられる。



図 4.21 高知港桂浜 高知の観光スポットである

### 3) 漁港海岸（全体）

- ・海水浴等の観光利用客や、日常的に海と密接に係わりながら暮らす地域住民に対して、漂着ゴミの集積した海岸は、景観面で大きなイメージダウンにつながっている。
- ・このような景観面でのイメージダウンは、結果として、海水浴等の利用客の減少や、地域（特に当該地域の漁獲物）に対する評価の低下による消費意欲減退につながる懸念されている。
- ・白砂青松に代表される、美しい海岸景観形成の阻害要因になっており、住民の地域づくり意欲の背景となっている“ふるさと意識”の醸成に悪影響をもたらしている。

#### ● 静浦漁港海岸(第1種)

所在地	北海道松前郡松前町	管理者	北海道
調査実施日	平成 18 年 12 月 25 日(月)	天 候	晴れ
ヒアリング対象者	松前町産業振興課水産 G、松前町教育委員会 北海道渡島支庁渡島西部地区水産技術普及指導所		
要因別の影響			
①防災機能面	特に影響ない。		
②漁業活動面	海岸を細目昆布の干場に利用する際、ゴミ処理の作業が発生する。岩礁ののり、アワビ等に悪影響を与えている？（因果関係、定量的な被害状況は、不明）		
③生態環境面	特に影響ない。		
④海岸利用面	地元住民が海水浴利用する際に支障がある。		
⑤景観面	直背後に国道があり、観光客にマイナスイメージを与える。		
⑥漁村環境面	特に影響ない。		

#### ● 良漁港海岸(第3種)

所在地	北海道松前郡松前町	管理者	北海道
調査実施日	平成 18 年 12 月 25 日(月)	天 候	晴れ
ヒアリング対象者	松前町産業振興課水産 G 松前町教育委員会 北海道渡島支庁渡島西部地区水産技術普及指導所		
要因別の影響			
①防災機能面	消波ブロックの空隙部に大小のゴミが入り込んでいる。		
②漁業活動面	特に影響ない。		
③生態環境面	特に影響ない。		
④海岸利用面	地元住民が海水浴利用する際に支障がある。		
⑤景観面	直背後に国道があり、観光客にマイナスイメージを与える。		
⑥漁村環境面	特に影響ない。		

● 岩崎漁港海岸(第2種)

所在地	青森県西津軽郡深浦町	管理者	青森県
調査実施日	平成 19 年 2 月 26 日(月)	天 候	晴れ
ヒアリング対象者	青森県西北地方漁港漁場整備事務所 深浦町		
要因別の影響			
①防災機能面	離岸堤にゴミが目詰まりすることがあるが、特に影響ない。		
②漁業活動面	近隣の岩場で海苔、ワカメを採取しており、漂着するプラスチック容器(洗剤、薬品等)による影響が懸念される。		
③生態環境面	特に影響ない。		
④海岸利用面	特に影響ない。		
⑤景観面	海岸景観を損ねている。		
⑥漁村環境面	特に影響ない。		

● 平沢漁港海岸(第2種)

所在地	秋田県にかほ市	管理者	秋田県
調査実施日	平成 18 年 12 月 22 日(金)	天 候	晴れ 時々 雨
ヒアリング対象者	秋田県由利地域振興局農林水産部 にかほ市産業部、市民部 秋田県漁業協同組合南部総括・平沢支所		
要因別の影響			
①防災機能面	特に影響ない。		
②漁業利用面	特に影響ない。(漁港海岸の漁業利用がない。)		
③生態環境面	特に影響ない。		
④海岸利用面	海水浴利用時に支障を来している。		
⑤景観面	海水浴利用者等へマイナスイメージを与える。		
⑥漁村環境面	特に影響ない。		

● 出雲崎漁港海岸(第2種)

所在地	新潟県三島郡出雲崎町	管理者	新潟県
調査実施日	平成 19 年 1 月 24 日(水)	天 候	雨
ヒアリング対象者	新潟県農林水産部 出雲崎町産業観光課 出雲崎漁業協同組合		
要因別の影響			
①防災機能面	特に影響ない。		
②漁業利用面	特に影響ない。		
③生態環境面	特に影響ない。		
④海岸利用面	海水浴利用時に支障を来している。(井鼻海水浴場は、遠浅のロングビーチで、波も穏やかで海水浴シーズンは、賑わう)		
⑤景観面	海水浴利用者等へマイナスイメージを与える。		
⑥漁村環境面	高潮時に背後道路、民家に漂着ゴミが打ち上がる。		



● 姫津漁港海岸(第2種)

所在地	新潟佐渡市	管理者	新潟県
調査実施日	平成19年1月25日(木)	天候	くもり
ヒアリング対象者	佐渡市相川支所産業振興課		
	金泉南部漁業協同組合		
要因別の影響			
①防災機能面	特に影響ない。		
②漁業利用面	特に影響ない。		
③生態環境面	特に影響ない。		
④海岸利用面	漁港海岸がキャンプ場となっており、利用上支障を来している。		
⑤景観面	キャンプ利用者へマイナスイメージを与える。		
⑥漁村環境面	特に影響ない。		

● 片辺漁港海岸(第1種)

所在地	新潟県佐渡市	管理者	佐渡市
調査実施日	平成19年1月25日(木)	天候	くもり
ヒアリング対象者	佐渡市相川支所産業振興課		
	高千漁業協同組合		
要因別の影響			
①防災機能面	特に影響ない。		
②漁業利用面	特に影響ない。		
③生態環境面	特に影響ない。		
④海岸利用面	海水浴利用時に支障を来している。		
⑤景観面	海水浴利用者へマイナスイメージを与える。		
⑥漁村環境面	特に影響ない。		

● 赤羽根漁港海岸(第4種)

所在地	愛知県田原市	管理者	愛知県
調査実施日	平成19年2月7日(水)	天候	晴れ
ヒアリング対象者	田原市 畜水産係		
	赤羽根漁業協同組合、NPO あかばね塾		
要因別の影響			
①防災機能面	特に影響ない。		
②漁業利用面	特に影響ない。		
③生態環境面	特に影響ない。		
④海岸利用面	特に影響ない。(海水浴は禁止されている)		
⑤景観面	観光地であることから、観光客へマイナスイメージを与えている。		
⑥漁村環境面	特に影響ない。		

● 香住漁港海岸(第3種)

所在地	兵庫県美方郡香美町	管理者	兵庫県
調査実施日	平成 19 年 2 月 8 日(木)	天 候	くもり
ヒアリング対象者	香美町健康福祉部町民課 環境衛生係 香住町漁業協同組合		
要因別の影響			
①防災機能面	特に影響ない。		
②漁業利用面	特に影響ない。(漁港海岸の漁業活動利用はない)		
③生態環境面	特に影響ない。		
④海岸利用面	海水浴利用時に支障を来している。		
⑤景観面	マイナスイメージを与える。(山陰海岸国立公園に指定されている)かにすきが名物であり、冬でも観光客が多い。		
⑥漁村環境面	特に影響ない。		

● 浜坂漁港海岸(第3種)

所在地	兵庫県美方郡新温泉町	管理者	兵庫県
調査実施日	平成 19 年 2 月 8 日(木)	天 候	くもり
ヒアリング対象者	浜坂町漁業協同組合		
要因別の影響			
①防災機能面	特に影響ない。		
②漁業利用面	特に影響ない。		
③生態環境面	特に影響ない。		
④海岸利用面	特に影響ない。		
⑤景観面	特に影響ない。		
⑥漁村環境面	特に影響ない。		

● 和江漁港海岸(第2種)、鳥井漁港海岸(第1種)

所在地	島根県大田市	管理者	島根県
調査実施日	平成 19 年 2 月 15 日(木)	天 候	くもり
ヒアリング対象者	太田市産業振興部水産課 漁業協同組合 JF しまね太田支所		
要因別の影響			
①防災機能面	特に影響はない。		
②漁業利用面	泊地内に流木が入ってくる。底引き網が沈んだ流木に網を引っかけることが良くある。		
③生態環境面	特に影響はない。		
④海岸利用面	遊泳禁止となっているため、特に影響はない。		
⑤景観面	ゴミの量が多いため、景色が悪くなる。		
⑥漁村環境面	特に影響はない。		

● 久見漁港海岸(第1種)、油井漁港海岸(第1種)、中村漁港海岸(第4種)

所在地	島根県隠岐郡隠岐の島町	管理者	隠岐の島町
調査実施日	平成 19 年 2 月 15 日(木)	天 候	
ヒアリング対象者	隠岐の島町役場農林水産課		
	JF しまね西郷支所		
要因別の影響			
①防災機能面	特に影響はない。		
②漁業利用面	特に影響はない。(海岸を漁業利用していない。)		
③生態環境面	特に影響はない。		
④海岸利用面	特に影響はない		
⑤景観面	特に影響はない。		
⑥漁村環境面	特に影響はない。		

赤野漁港海岸(第1種)

所在地	高知県安芸市	管理者	安芸市
調査実施日	平成 19 年 2 月 1 日(木)	天 候	晴れ
ヒアリング対象者	安芸市商工水産課		
	芸西漁業協同組合		
	NPO SEA-GROUND		
要因別の影響			
①防災機能面	特に影響ない。		
②漁業利用面	特に影響ない。(漂流ゴミの方が影響がある)		
③生態環境面	特に影響ない。		
④海岸利用面	特に影響ない。(海水浴利用されていない)		
⑤景観面	海岸背後の山の斜面に展望台があり、マイナスイメージを与える。		
⑥漁村環境面	特に影響ない。		

● 豊の浦漁港海岸(第2種)

所在地	愛媛県西宇和郡伊方町	管理者	伊方町
調査実施日	平成 19 年 2 月 2 日(金)	天 候	くもり
ヒアリング対象者	伊方町建設課漁港係		
	八幡浜漁業協同組合伊方支所		
要因別の影響			
①防災機能面	漂着ゴミが消波ブロックに入り込むことはあるが、特に影響ない。		
②漁業利用面	特に影響ない。(海岸は漁業利用していない)		
③生態環境面	特に影響ない。		
④海岸利用面	特に影響ない。		
⑤景観面	特に影響ない。		
⑥漁村環境面	特に影響ない。		
⑦その他	特に影響ない。		

● 蚊焼漁港海岸(第1種)、為石漁港海岸(第1種)

所在地	長崎県長崎市	管理者	長崎市
調査実施日	平成19年2月21日(水)	天候	晴れ
ヒアリング対象者	長崎市三和行政センター		
	野母崎三和漁業協同組合		
要因別の影響			
①防災機能面	消波ブロックにゴミが詰まるが、特に影響ない。		
②漁業利用面	特に影響ない。(海岸は漁業利用していない)		
③生態環境面	特に影響ない。		
④海岸利用面	為石漁港海岸ではペーロン大会を開催しており、利用上支障がある。		
⑤景観面	地域住民や来訪者にマイナスイメージを与える。		
⑥漁村環境面	特に影響ない。		

● 日島漁港海岸(第1種)

所在地	長崎県南松浦郡新上五島町	管理者	新上五島町
調査実施日	平成19年2月22日(木)	天候	晴れ
ヒアリング対象者	新上五島町水産課		
	若松漁業協同組合		
要因別の影響			
①防災機能面	特にない。		
②漁業利用面	漁獲物のイメージダウン、環境ホルモン等の影響があるのではないかと？		
③生態環境面	特にない。		
④海岸利用面	特にない。		
⑤景観面	特にない。		
⑥漁村環境面	特にない。		

要因別の影響

- ・伝統的な海水浴や釣りに加え、近年盛んになっている都市漁村交流等の参加者を含めた観光客や地域住民に対して、景観的にマイナスイメージを与えることが、最も大きな影響であると認識される。
- ・海岸を漁場として、漁業利用している漁港は、本調査対象地区に限ればほとんどなく、全国的に見ても、漂着ゴミの漁業利用面での影響は軽微であるものと推定される。
- ・漁業活動への影響は、海岸に漂着したゴミよりも、むしろ、漂流しているゴミ、海底に沈んでいるゴミ等による被害が大きいという意見が多い。具体的には、これらのゴミに接触するなどして、漁船や漁網の損傷被害が発生している。
- ・海水浴場に指定され、実際に利用されている海岸では、海水浴客等の利用に支障を来している地区もある。
- ・地域の漁業生産を担い、主導する立場にある漁協では、消費者でもある観光客等が海岸漂着ゴミを目の当たりにすることによる、漁獲物に対する食品としてのイメージの悪化や、漁獲物へのなんらかの生物的・理化学的な悪影響があるのではないかと不安を抱いている。